

# 「生成AIが期待外れに 終わる理由」 — なぜ社 内にAIは定着しないのか？

導入企業の8割以上が直面する  
「ナレッジギャップ」という名の壁。

「定着しない」

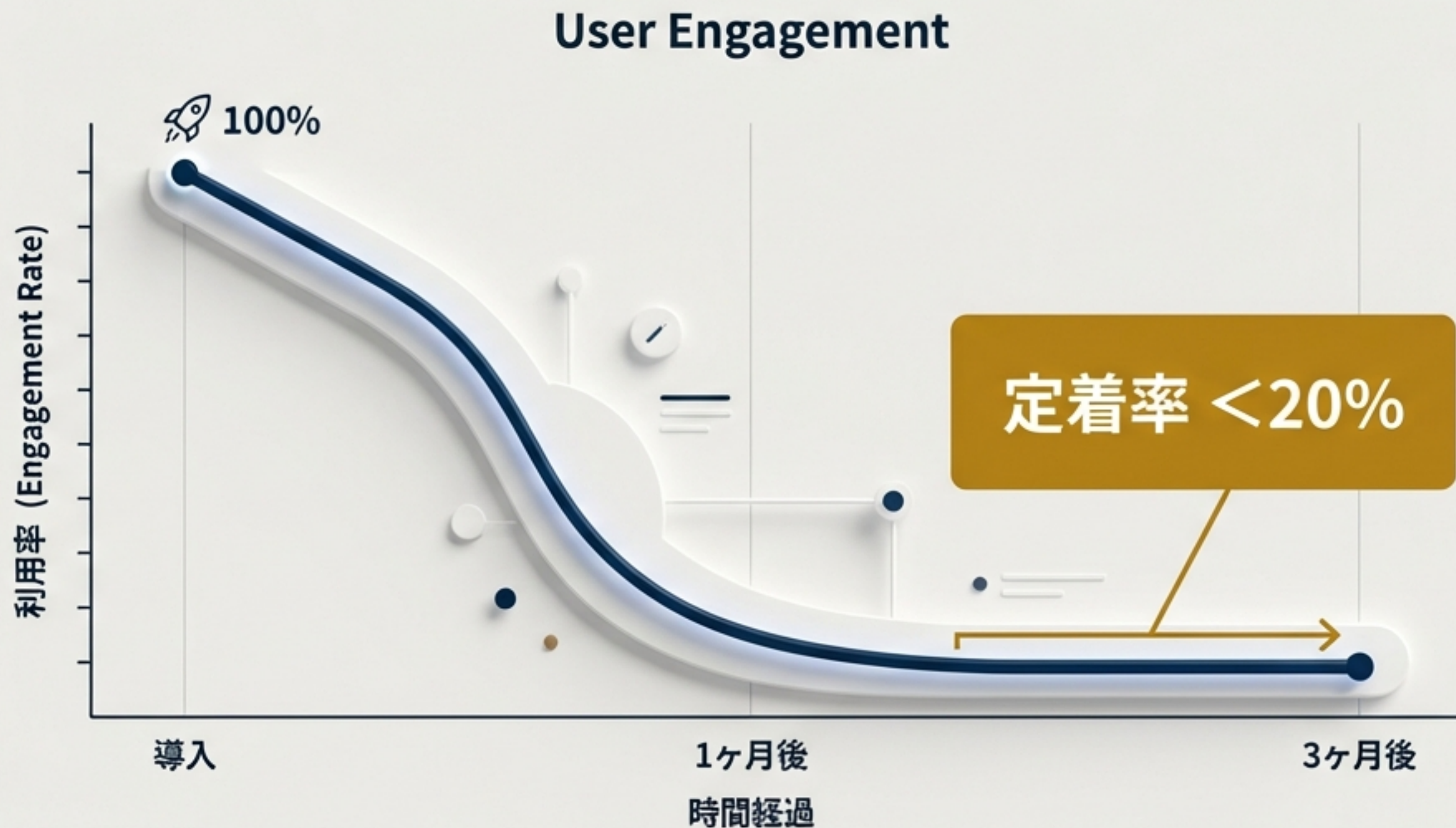




# ツールは導入された。しかし、誰も使っていないのが現実。

多くの企業が直面する課題：「期待通りのアウトプットが出せず、自己流で終わってしまう」

業界の現実：一般的なAIツールの定着率は20%を下回ることが多い。



# 問題は「プロンププンプトの書き方」ではなかった。

パラダイムシフト：AIはかつてないほど賢くなった。GPT 5の知能はIQ145に相当するとも言われ、これは東大生の平均IQ（約130）をも上回るレベル。そのため、細かい「書き方のテクニック」はもはや本質的な課題ではない。

**過去の課題 (Old Problem)**



プロンプトエンジニアリング  
(Prompt Engineering)



**現在の現実 (New Reality)**



IQ 145+ のAI



# AIの能力を阻害する本当の犯人：「ナレッジギャップ」

我々は持っているが、AIは持っていない知識の断絶。

「いいアウトプットが出ない時は、常にナレッジギャップを疑うべき」



例：社内のベテラン社員は、資料作成を依頼された際、過去の類似案件、上司の好み、会社の暗黙のルールといった膨大な「文脈」を無意識に活用する。AIにはこの文脈がない。



# 求められるスキルの進化：コンテキストエンジニアリングへ

## プロンプトエンジニアリング (Prompt Engineering)

一つの指示（プロンプト）を最適化する技術。（「指示」の最適化）



## コンテキストエンジニアリング (Context Engineering)

AIに必要な情報や外部システムとの連携を含めた、AIエージェントシステム全体の振る舞いを最適化する、より大きな概念。（「システム全体」の最適化）





# AIに「プロンプトを書かせる」という逆転の発想。



## 慣れフルチャット

プロンプトを挿入力してください。

✎ プロンプト作成を生成する

### 慣れフルチャット（Nare-full Chat）

人がプロンプトを書くからナレッジギャップが生まれる。  
ならば、AIに業務で使えるプロンプトを生成させればいい。

プロンプト作成サポート

「ナレッジギャップを埋める、法人向けAIチャット」



**たった一言の指示が、専門家の依頼に変わる瞬間。**

# BEFORE



「このNDAをリーガルチェックして」

[illegible]

## 結果: 再現性がなく、品質も不安定

## AFTER



「このNDAをリーガルチェックして」

## プロンプト作成サポート

あなたは経験豊富な企業法務の専門家です...

このNDAをリーガルチェックして↓.....

- ・法的リスクの特定
- ・不利な条項の確認



## 綜合評回

このNDAをリーガルチェックして」は、は結構豊富な経験される。この評価がかなり有効的だ。

### 発見された問題点

- ・ 法的リスクの特定、不正競争防止法の問題点
- ・ 法的リスクの特定、法的リスクマネジメントの検討
- ・ 不利な参入の懸念は、プロパティアウトブットを抑制した。

## 修正案

- ・ 返済リスクの心算を矯正し関する事業的を修正し説明する

## 結果: 誰が使っても、プロ品質のアウトプット



# 企業利用を前提とした、再現性と共有のための機能群。



## プロンプト共有

優れたプロンプトを「利用シーン」や  
コメントと共にタイムラインで共有。  
俗人化を防ぎ、組織全体のノウハウを蓄積。



## 高精度解析

ファイルの中身をAIが理解・加工し  
やすいように自動で構造化。  
PDF内の画像データさえも解析可能。



## 複数AIモデル対応

タスクに最適なAIモデルを自動でレコメンド。  
常に最高のツールで業務を遂行。



導入3ヶ月で利用率70%超え。  
ある企業のAI革命。

70%

株式会社セゾンファンデックス  
(Saison Fandcs Co., Ltd.)

SAISON  
FANDCS

利用率：70%（従業員300名中、約200名が利用）

期間：導入後わずか3ヶ月で達成





# なぜ彼らは成功できたのか？定着化を支えた3つの要因。



## 1. プロンプトの壁を解消

「プロンプト作成サポート」機能により、専門知識がない社員でも質の高い指示をAIに出すことができた。



## 2. 圧倒的な導入ハードルの低さ

ユーザー数無制限で月額4万円からという価格設定が、ROIの懸念を払拭し、全部署への展開を可能にした。



## 3. 手厚い導入サポート

定期的な勉強会を実施し、社員が「成功体験」を積む機会を提供。これが利用の連鎖を生んだ。



# 「月100時間の工数削減」—数字で見る導入効果。



**月100時間**  
**工数削減**

システム部：プログラムの  
コーディング等で達成



**x1.5**  
**SEO記事制作量**

マーケティング：記事経由の  
流入は2～3倍に増加



**80%削減**  
**問い合わせ対応**

人事・総務：就業規則に関する  
問い合わせを自動化



**10～15分**  
**議事録作成時間**

全社：1～2時間かかっていた  
作業を大幅短縮



# AIと共に働く新時代 「Vibe Working」へ。

- AIは単なるツールではなく、業務と共に遂行する「分身」となる。
- AIを使いこなすことで、一人ひとりの生産性は飛躍的に向上し、企業力そのものの向上に直結する。





# 日本のAI活用を、一步先へ。

日本のすべての企業にとって、生成AI活用のハードルを下げたい。

「日本の生成AI活用は遅れている」という現状を打破し、  
国全体の生産性向上に貢献する一条になりたい。





# AI導入を成功に導くためのロードマップ。

1

## 課題の再認識 (Recognize the Real Problem)

本当のボトルネックはプロンプトの「書き方」ではなく、AIとの「ナレッジギャップ」として理解する。

2

## 的確な解決策の導入 (Implement the Right Solution)

AIにプロンプト作成をサポートさせ、誰でも簡単に文脈を伝えられる「慣れフルチャット」のようなツールを導入する。

3

## 効果の実証と拡大 (Realize and Scale the Impact)

高い定着率と、工数削減や生産性向上といった具体的なROIを実現し、全社的な活用へと繋げる。



# 生成AIのポテンシャルを、 あなたの組織で解放する。



Clinks Inc.



慣れフルチャット



「まずは資料請求から」

「導入事例やデモのご相談はこちら」

[www.clinks.co.jp/nare-full-chat](http://www.clinks.co.jp/nare-full-chat)

[contact@clinks.co.jp](mailto:contact@clinks.co.jp)